

## 意見交換テーマ

## 少子社会からの転換について

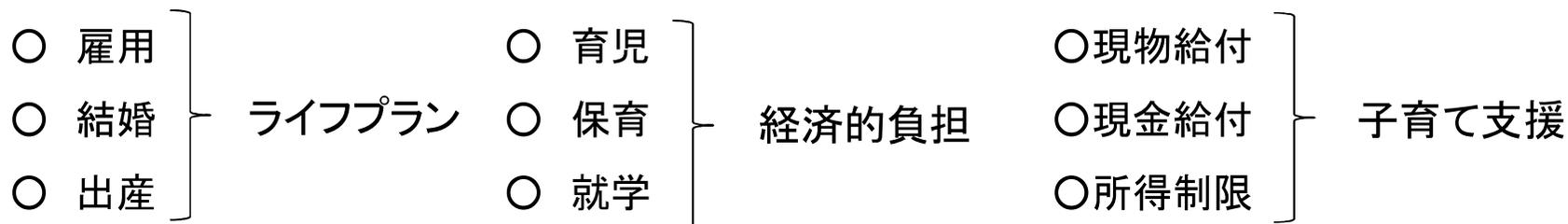
厚生労働省が先ごろ公表した2021年の合計特殊出生率(※)は、前年比0.03ポイント低下の1.30となり、出生数は81万人と過去最少となりました。

また、本県でも、合計特殊出生率は1.22と低く、県人口が戦後初の減少となるなど、大きな転換点を迎えています。

※合計特殊出生率＝15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む子供の数に相当する。

◆ そこで、出生数の減少や合計特殊出生率の低下が続くなか、改善に向けた取組や考え方など、様々な視点からご意見をお聞かせください。

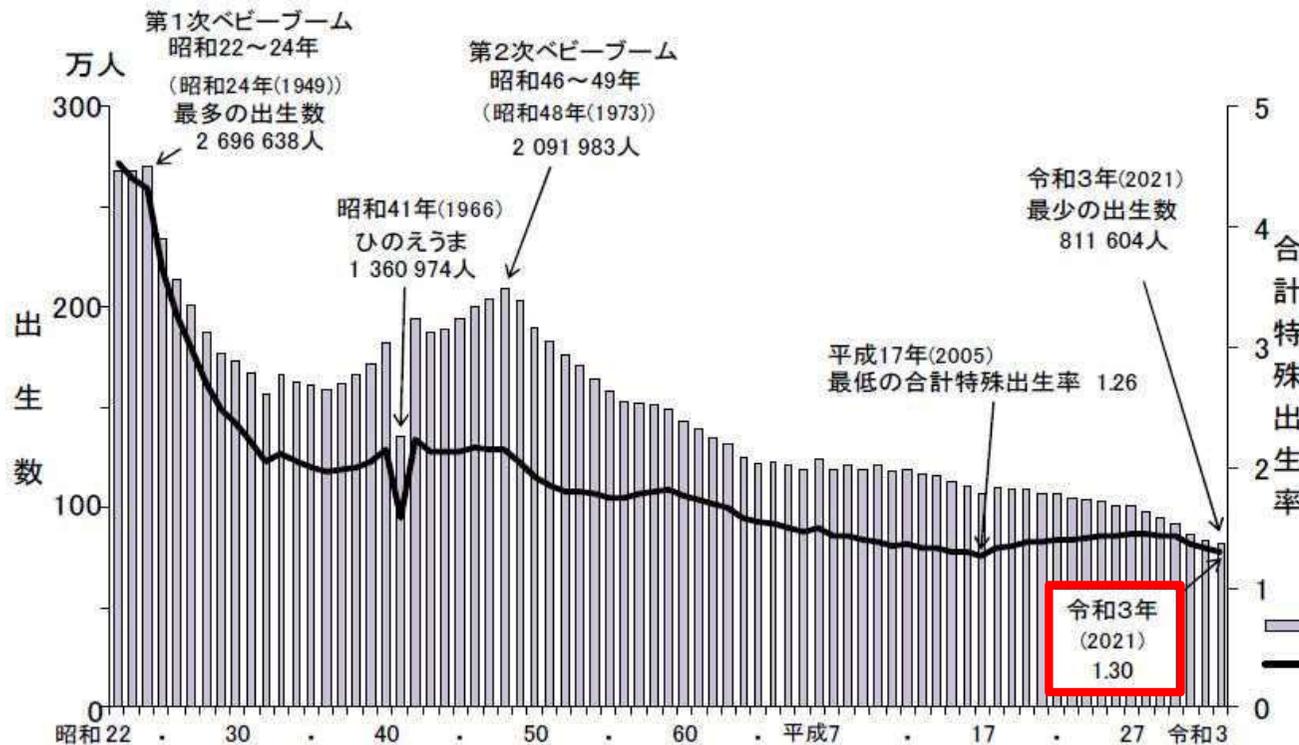
## 議論の主な切り口



# 1 我が国の少子化の現状

- 新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、婚姻件数および妊娠届出数は2020年同様減少傾向がみられ、2021年の出生数は約81万人。6年連続で過去最少を更新し、2022年は80万人を下回る見込みです。
- また、出生数から死亡数を引いた人口の自然増減数も2021年は62万8205人の減少で、過去最大となっています。少子化は確実に、地方の社会・経済の活力を奪っていくこととなります。
- 50歳時の未婚割合も、1985年の5%未満から、2020年に男性28.3%、女性17.8%に到達。25～34歳の独身理由は男女とも、「適当な相手にめぐりあわない」が最多で、「異性とうまく付き合えない」も増加傾向です。
- 来年度には、少子化対策を含む子ども家庭政策の司令塔となる「こども家庭庁」が設置され、結婚の支援や不妊治療の保険適用など少子化対策の具体的な検討が進められることとなっています。

わが国の出生数及び合計特殊出生率の年次推移



都道府県別にみた合計特殊出生率

| 都道府県         | R3          | R2          | 増減           |
|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 沖縄         | 1.80        | 1.83        | -0.03        |
| 2 鹿児島        | 1.65        | 1.61        | 0.04         |
| 3 宮崎         | 1.64        | 1.65        | -0.01        |
| 4 島根         | 1.62        | 1.60        | 0.02         |
| 5 長崎         | 1.60        | 1.61        | -0.01        |
| 40 秋田        | 1.22        | 1.24        | -0.02        |
| <b>40 埼玉</b> | <b>1.22</b> | <b>1.27</b> | <b>-0.05</b> |
| 40 神奈川       | 1.22        | 1.26        | -0.04        |
| 40 京都        | 1.22        | 1.26        | -0.04        |
| 44 千葉        | 1.21        | 1.27        | -0.06        |
| 45 北海道       | 1.20        | 1.21        | -0.01        |
| 46 宮城        | 1.15        | 1.20        | -0.05        |
| 47 東京        | 1.08        | 1.12        | -0.04        |
| 全国           | 1.30        | 1.33        | -0.03        |

## 2-1 埼玉県の少子化対策(きめ細かな少子化対策の推進)

- 子育て世代やこれから結婚や出産を考える県民はもちろん、まだ結婚を意識していない若者まで対象を広げ、ライフデザインの構築支援から出会いの機会の提供、結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない、きめ細やかな支援を提供。
- 経済・雇用、教育、まちづくりといった幅広い分野にわたる総合的な取組を継続的に実施。
- 社会全体で子育てを支援する気運を高め、子育てに対する不安を解消し、結婚や出産を望む県民誰もが希望をかなえられる社会づくりの推進。

### 埼玉県5か年計画における主な取組

- 若年者へのライフデザイン構築支援
- 結婚を希望する未婚者への出会いの機会の提供・結婚新生活支援
- 不妊治療への支援
- 産婦人科医確保の推進
- 子育て世代包括支援センターを中心とした妊娠、出産、子育てまでの切れ目ない支援や産前・産後の不安のある方への支援(埼玉版ネウボラ)の充実
- 若者の就業支援
- 不本意非正規雇用者の正規雇用化の支援
- 妊娠、出産、不妊に関する正しい知識の普及啓発(中学生・高校生等に向けた教育を含む)や相談対応
- 将来親になる世代への「親の学習」など子育ての理解を図る取組の推進
- 職場体験など将来働くことについての意欲や関心が持てる取組の推進
- 子育てしやすい住宅の普及促進
- パパ・ママ応援ショップなど社会全体で子育てを応援するムーブメントの醸成
- 三世帯同居や近居の促進
- 多子世帯の経済的負担を軽減するための支援
- 働き方の見直しによる男女ともに仕事と家庭を両立できる環境づくり
- 私立学校の園児などの保護者の経済的負担を軽減するための支援

## 2-2 埼玉県の少子化対策(子育て支援の充実)

- 保育の受け皿拡充や、新卒保育士や潜在保育士の就職支援などによる保育士の確保・定着と保育の質の向上
- 延長保育や病児保育といった様々なニーズに対応したきめ細かい保育サービスの提供を支援
- 就学後も全ての児童が安心・安全に過ごせるよう、放課後児童クラブなどの充実や子供の居場所づくりを支援

### 埼玉県5か年計画における主な取組

- 保育所、認定こども園、企業内保育所などの整備促進
- 保育士など子育てを支援する人材の育成・確保・定着
- 延長保育や一時預かり、病児保育、送迎保育などの多様な保育サービスの提供支援
- 地域における子育て支援の充実
- 周産期医療体制の強化、小児救急医療体制の整備
- 乳幼児、ひとり親家庭等、重度心身障害児(者)の医療費の助成
- 小児慢性特定疾病児童への療養支援
- 放課後児童クラブ及び放課後子供教室の充実
- 子供の居場所づくり活動等に対する支援